

あさか訪問通信

H29.5月号



歯周病と “全身疾患”の関係



「“歯周病”はお口の中だけのもの」と考えていませんか？

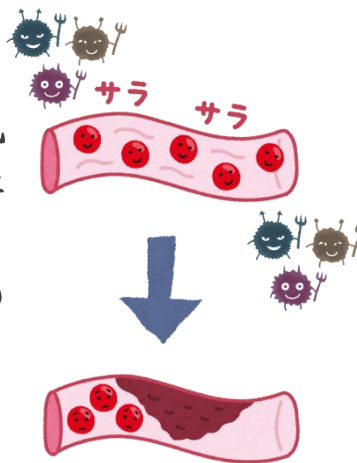
歯周病は日本人の約8割が患っていると言われ、とても身近な疾患の一つですが、近年「**歯周病が全身にもたらす影響**」また「**全身が歯周病に与える影響**」についての研究が進められています。



心臓疾患・脳血管疾患

歯周病の原因菌の中には、様々な細菌が住んでいます。それにより血管内に「**プラーク（細菌の塊）**」が作り出され、血管の壁に炎症を起こします。すると炎症部分が動脈硬化を起こし、血管の流れを悪くしたり（**狭心症**）、血管を詰まらせたり（**心筋梗塞**）するのです。

また、プラークが脳の血管に回れば、同じ原理で**脳梗塞**のリスクが高まります。歯周病の人は、そうでない人に比べ、**脳梗塞のリスクが2.8倍高くなる**と言われています。



誤えん性肺炎

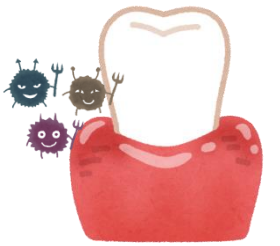
高齢者の死亡原因第3位と言われている肺炎ですが、そのほとんどは“**細菌がだ液や胃液と一緒に肺に入り込み起こる「誤えん性肺炎」**”というものです。本来であれば、肺や気管は咳をすることで異物が入らないように自らを守ることが出来ますが、高齢になると喉の周りの筋力が低下することで、細菌が気管を通過して肺の中に入りやすくなります。**誤えん性肺炎を引き起こす細菌の多くは、「歯周病菌」だと言われている**ので、肺炎予防のためには“**口腔ケア**”による歯周病のコントロールが不可欠となります。



糖尿病

歯周病菌は、歯周病によって腫れた歯肉から、容易に血管の中に入っていきます。そして、歯周病菌の細胞壁に含まれる“**内毒素**”という毒物は、血糖値にも悪影響を及ぼすことが分かっています。

歯周病と糖尿病は、どちらかが悪化するともう片方も悪化するという相互に悪影響を及ぼす関係にあります。逆に**歯周病治療で糖尿病が改善されるというデータも出ている**のです。



骨粗しょう症

骨粗しょう症は、現在日本で約1,000万人が患っていると言われています。そしてその約90%が女性です。女性は年齢を重ねると“**エストロゲン**”という骨代謝に関わるホルモンの分泌が低下するのです。エストロゲンの分泌が低下すると、全身の骨がもろくなると共に、歯を支える骨ももろくなります。

骨粗しょう症も患っている方は歯周病が重症化しやすい為、歯周病予防をしっかり行う必要があります。



歯周病の治療・予防は“**お口の中を清潔に保つこと**”です。歯科による定期的な口腔ケアは、ご自身の健康を保つことにも繋がります。

スタッフの近況 ～写真のご紹介～

ドクター会を
行いました♪



医療法人 寛友会
浅賀歯科医院

浅賀・敬デンタルクリニック